

CASBEE-建築(新築)2014年版
応用電機(株)城陽工場F棟新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

スコアシート		実施設計段階					
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質							2.6
Q1 室内環境							2.9
1 音環境							
1.1 騒音		3.0	0.15		-	3.0	
1.2 遮音		3.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能		3.0	0.60		-		
2 界壁遮音性能		3.0	0.40		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-		
1.3 吸音		3.0	0.20		-		
2 温熱環境							
2.1 室温制御		2.6	0.35		-	2.6	
1 室温		3.0	0.50		-		
2 外皮性能		3.0	0.38		-		
3 ゾーン別制御性		3.0	0.25		-		
2.2 湿度制御		1.0	0.38		-		
2.3 空調方式		3.0	0.20		-		
3 光・視環境							
3.1 昼光利用		3.5	0.25		-	3.5	
1 昼光率	1,2階会議室3.0%	4.2	0.30		-		
2 方位別開口		5.0	0.60		-		
3 昼光利用設備					-		
3.2 グレア対策		3.0	0.40		-		
1 昼光制御		3.0	0.30		-		
3.3 照度	会議室57Alx	3.0	1.00		-		
3.4 照明制御		4.0	0.15		-		
		3.0	0.25		-		
4 空気質環境							
4.1 発生源対策		2.8	0.25		-	2.8	
1 化学汚染物質		3.0	0.50		-		
		3.0	1.00		-		
4.2 換気					-		
1 換気量	自然換気有効開口面積が居室面積の1/15以上	3.6	0.30		-		
2 自然換気性能		3.0	0.33		-		
3 取り入れ外気への配慮		5.0	0.33		-		
4.3 運用管理		3.0	0.33		-		
1 CO ₂ の監視		1.0	0.20		-		
2 喫煙の制御		-	-		-		
		1.0	1.00		-		
Q2 サービス性能							3.2
1 機能性							
1.1 機能性・使いやすさ		3.1	0.40		-	3.1	
1 広さ・収納性		3.0	0.40		-		
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33		-		
3 バリアフリー計画		3.0	0.33		-		
1.2 心理性・快適性		3.0	0.33		-		
1 広さ感・景観	2階会議室天井高3.0m	3.3	0.30		-		
2 リフレッシュスペース		5.0	0.33		-		
3 内装計画		2.0	0.33		-		
1.3 維持管理		3.0	0.33		-		
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.30		-		
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-		
					-		
2 耐用性・信頼性							
2.1 耐震・免震		3.1	0.30		-	3.1	
1 耐震性		3.0	0.50		-		
2 免震・制振性能		3.0	0.80		-		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.20		-		
1 躯体材料の耐用年数		3.6	0.30		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床ビニールシート20年	5.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	3種がB以上、Eは不使用	5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-		

2.4 信頼性			2.8	0.20			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		2.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.4	0.30			3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30			
1	階高のゆとり	階高4.1m以上	5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.15	4.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30			
3.3 設備の更新性			3.0	0.40			
1	空調配管の更新性		3.0	0.20			
2	給排水管の更新性		3.0	0.20			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)				0.38			2.0
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40			2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30			3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							3.3
LR1 エネルギー				0.40			3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制			2.0	0.05			2.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12			3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.84 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.59			4.0
	集合住宅以外の評価(3a,3b)	LED照明などの、高効率設備機器を採用	4.0	1.00			
	集合住宅の評価(3c)						
4 効率的運用			3.0	0.24			3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00			
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
	集合住宅の評価						
4.1	モニタリング						
4.2	運用管理体制						
LR2 資源・マテリアル				0.30			3.1
1 水資源保護			3.4	0.20			3.4
1.1	節水	節水型水栓に加え、節水型便器の採用	4.0	0.40			
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60			3.0
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ビニール床タイル(床材)	3.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材	4.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20			3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	防水工事のプライマー	4.0	0.30			
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70			
1	消火剤						
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境				0.30			3.2
1 地球温暖化への配慮		LCCO2=88%	3.4	0.33			3.4
2 地域環境への配慮			3.0	0.33			3.0
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25			
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50			
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.3	0.25			
1	雨水排水負荷低減						
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33			
3	交通負荷抑制	自転車置場設置、消防隊専用駐車場有、出入り口2か所設置	4.0	0.33			
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33			
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	1.00			
2	振動						
3	悪臭						
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制						
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			4.4	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインのチェックリストの過半を満たす、広告物照明な	5.0	0.70			
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			